

1年間の出来事



1年間の出来事

平成26年

4月1日(火)	平成26年度入職式
4月4日(金)	献血
4月8日(水)	消防設備等の取扱い説明、消火器・消火栓訓練
4月16日(水)	防災避難訓練
4月21日(月)	みやざきホスピタル(茨城県)施設見学
4月28日(月)	親和会総会
5月2日(金)	防災(救助袋)訓練
5月26日(月)	定時社員総会
6月12日(木)	めぐみキッズハウス 労働局立入検査
6月14日(土)	親和会ボウリング大会
6月18日(水)	精神科病院臨時実地指導 こころの健康センター
7月5日(土)	就職説明会
7月8日(火)	実地検証 厚生労働省
7月21日(月)	島見浜海岸清掃・病院美化活動
8月8日(金)	新潟まつり大民謡流し
8月14日(木)	職員採用試験
8月28日(木)	新潟県精神科病院協会ピアレビュー
8月31日(日)	市内病院対抗球技大会
9月5日(金)	葛塚まつり豊栄大民謡流し
9月28日(日)	病院祭
10月17日(金)	夜勤体制防火訓練
10月25日(土)	親和会旅行
11月5日(水)	病院立入検査 新潟市保健所
11月6日(水)	新潟市長選挙不在者投票
11月10日(月)	精神科病院実地指導・実地審査 こころの健康センター
11月13日(木)	障がい者雇用企業見学・実習説明会
11月28日(金)	大島病院施設見学
12月10日(水)	衆議院議員総選挙不在者投票
12月12日(金)	恵生会忘年会
12月24日(水)	スリランカ留学生の保健事業見学(ペラデニア大学)

平成27年

1月7日(水)	障がい者雇用実習開始
1月15日(木)	後藤病院長講演
2月18日(水)	電子カルテ導入事例セミナー
3月2日(月)	障がい者雇用開始
3月3日(月)	施設基準等に係る適時検査 関東信越厚生局
3月11日(水)	実地指導確認調査 こころの健康センター
3月23日(月)	臨時実地指導 こころの健康センター

入職式



4月1日に入職式を行いました。入職者代表の福本看護師より「実践への不安を感じておりますが、一刻も早く地域の保健医療を支える立派な大木となるよう、努力してまいります。」と抱負がありました。

ボウリング大会

職員の約半数が参加する人気のイベントです。スポーツを通して普段とは違った職員同士の交流が行われました。



1階北病棟



3階病棟



2階病棟



4階病棟



5階病棟

新潟まつり民謡流し

8月8日（金）に開催された民謡流しに参加。当院が最初に参加したのは昭和52年8月で、それまでは運動会の開催時に患者と職員で一緒にフォークダンスや佐渡おけさを踊っていました。今年は62名が参加し丹精込めた山車も連なって盛況のうち終了しました。



葛塚まつり

葛塚まつり民謡流しに参加しました。52名の職員が参加。踊りに中に流れる音楽は生唄、生演奏です。



職員旅行

日光東照宮へ行ってきました。純金風呂で有名な鬼怒川温泉に宿泊。病院の繁栄と個人的な金運、開運を願ってきました。



クリスマスツリー



デイケアメンバーによる素敵なハンドベルの演奏と共にクリスマスツリーが点灯。病院を鮮やかに照らしてくれました。



忘年会



114名の職員が参加。余興で妖怪ウオッチのダンスが披露され大いに盛り上がりました。

献血



病気やけがなどで輸血を必要としている方の一助となればと31名の職員が献血に協力しました。

市内病院対抗球技大会

野球 序盤、接戦になるも最後は力の差がでて2回戦で惨敗。練習の大切さを改めて痛感しました。



バレーボール リーグ戦で敗退するも、チーム全体を意識した試合ができました。後ろの人に任せるのか、アウトかインか。声を掛け合って点が取れたときはチームが一つになった気がして嬉しく思いました。

島見浜海岸清掃・病院美化活動

毎年恒例となっている海岸清掃に職員・家族84名が参加しました。昨年とは違い、今年は天候に恵まれさわやかな朝日を浴びながらゴミ拾いをしました。

普段あまり海には行かないのですが、改めて砂浜を見てみるとお菓子の袋や花火の燃え残り、プラスチックやガラスの欠片等、危ないゴミも落ちていました。島見浜を訪れた方たちが少しでも気持ち良く利用できたら良いなと思いながら清掃しました。1時間ほど清掃すると手持ちのビニール袋は満杯。島見浜に限らず、海岸を利用するにはきちんとゴミは持ち帰ろうと思いました。

医事課 樋山 結



1年間の
出来事

病院祭

2014南浜病院祭実行委員 実行委員長 後藤雅博
事務局 後藤孝英

総入場者数：644名（一般来場者・外来患者・出演者・サブ会場協力者含む）

- | | | | |
|---|----------|-------------------|------------|
| ① | メイン会場参加者 | 松本ハウス講演 | 約200名 |
| ② | サブ会場利用者 | ストレスチェック・血管・脳年齢測定 | 422名（延べ人数） |
| | | ヨーヨーすくい・輪投げ | 80名（延べ人数） |
| | | 文字探しラリー | 337名 |

今年の病院祭は天候にも恵まれ、地域の方をはじめとする多くの方々に来院していただき、病院全体が大いに賑わいました。華やかな医療福祉大学和太鼓部によるオープニングに始まり、松本ハウスと病院長による講演会など様々な催しを企画しました。地域野菜の販売やスタンプラリーも行い、来院した幅広い年齢層に楽しく時間を過ごして頂けたと思います。

毎年地域の皆様に精神科病院を知ってもらいたいという願いのもと開催していますが、地域の方々の協力があったからこそ成功だったと企画・運営を通して改めて強く実感しています。今後も医療従事者として固いチームワークを保ち、地域住民の皆様に感謝を込めて私たちのできる貢献をしていきたいと思っています。

病院祭実行委員 河内 一真



病院祭

病院祭を終えて

実行委員長 後藤 雅博

9月28日（日）当院恒例の病院祭を開催しました。天候にも恵まれ、600人を超す参加者がありました。職員みんなの協力の賜で、無事かつ成功裏に終わることができました。病院祭は当院の大事なスローガンのひとつでもある「地域に開かれた病院」を目指すための重要なイベントではありますが、単にそれだけでなく、精神医療、精神疾患への偏見やスティグマをできるだけ軽減したいというメッセージでもあります。そういう意図に沿って、今年の実行委員のアイデアでお笑い芸人コンビの「松本ハウス」を呼ぶことができました。

「松本ハウス」のハウス加賀谷氏は芸人デビュー前から統合失調症に罹患しており、悪化して入院、その後10年を経て再結成という経歴があります。以前と違うのは統合失調症であることをカミングアウトして、単にお笑いだけでなくマスコミでのアンチスティグマ活動が主体となっている点です。そのため、今の精神医療の目指すべきひとつの概念である「リカバリー（回復）」（単なる病気からの回復や機能回復だけでなく、病気や障がいがあっても自分の人生や希望など全人的な回復を目指す）を実践する旗手として、多くの人たちに勇気や希望を与えています。

松本ハウスと会うのは、これで3回目ですが、いつも真摯で誠実な態度に感心します。それと同時に、加賀谷氏の統合失調症は今でも薬物療法と毎日の配慮を必要とされますが、同じくらいの病状で入院を続けている人と彼を分けたもの、今もわけているものは何だろうか、ということを考えずにはいられません。よく指摘されるのは相方のキック氏の存在ですが、キック氏も「自分は支援者ではない、むしろ私が助けられている」といいます。適切な薬物療法や信頼できる医療機関も大事でしょうし、何よりも「これをしてほしい」という強い希望とあきらめない気持ちが必要なのでしょう。でも、それだけではない気がします。こういう風に考えるきっかけをくれるのが、彼らの存在のすばらしさであると思います。病院を見学してもらいましたが、お世辞でなく、きれいで別世界のようなだといっていました。自信を持ってもらえる病院でよかったと思います。



1年間の
出来事

1年間の出来事

